

部局名	子ども部	所属名	母子保健課	所属長名	佐藤 洋子	電 話	486-7250
-----	------	-----	-------	------	-------	-----	----------

1. 事務事業の位置付け・概要（P L A N）

コード			3186		事務事業名称		母子保健事業					短縮コード		経常	3186	臨時	3936					
予算区分			会計	01	一般会計			款	04	衛生費			項	01	保健衛生費			目	02	予防費		
区 分			☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務 ☐ その他					根拠法令等		地域保健法・母子保健法 ●施策体系欄に書ききれなかったもの （細項目）010101020 1 健康診査体制の整備												
事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）																						
昭和40年に制定された母子保健法により妊婦・乳幼児に対する各種健康診査や保健指導など、母子保健対策の推進を図っている。平成6年に母子保健法が改正され、住民の身近な市町村において妊娠、出産、育児など母子保健についてきめ細かく一環したサービスの提供を図るという観点から、健康診査、訪問指導の実施主体が都道府県から市町村に一元化され、平成9年度から新たに妊産婦訪問・新生児訪問・3歳児健康診査などを実施している。体制的にも平成18年4月から子ども部創設を機に3課1センターによる連携を強化し、妊娠期から乳幼児期の切れ目のない子育て支援を行っている。平成16年3月に策定した健康まちづくりプラン推進のために食育・思春期保健・歯科保健を重点取り組みとして、平成18年度「八千代市思春期保健ネットワーク会議」「八千代市歯科保健推進協議会」の2つの会議体を立ち上げ推進している。食育に関しては「やちよ食育ネット」が推進母体として取り組んでいる。																						
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測							総合計画の 施策体系	5本の柱（章）		01	健康福祉都市をめざして											
現在、少子化や核家族の進行、ひとり親家族の増加、情報の氾濫や価値観の多様化、児童虐待の増加、育児不安をかかえる保護者の増加等、母子を取り巻く環境は著しく変化している。妊婦が救急車で医療機関をたらい回しされる事件もあり、産科医師の不足や健診を受けずに飛び込み出産をするなど妊婦健康診査の公費負担のあり方や妊娠届の遅れなどが問題になっており、妊婦健康診査の公的負担の回数増や妊娠届出の早期届出の周知が求められている。平成19年度から乳児家庭全戸訪問事業を国が虐待の未然防止の為、次世代育成支援対策事業として位置づけた。平成21年度からは児童福祉法の一部を改正する法律の施行に伴い、乳児家庭全戸訪問事業と養育支援訪問事業が事業者の制度として位置づけられた。さらに妊娠期から、乳幼児期の節目において、養育支援が必要な家庭を早期に把握し支援をしていくことが求められている。妊婦健康診査については14回の公費負担の今後の動向が注視されている。								大項目（節）		01	保健・医療											
								中 項 目		01	保健											
								小項目（施策）		01	健康づくりの推進											
								細 項 目		02	健康な暮らしの環境整備											
03	子どもと子育て家庭への支援																					
実施計画の 計画事業																						
計画事業の位置付けの有無					☐	計 画 事 業 期 間		～			計 画 事 業 費		千円									

2. 事務事業の目的・指標・実績（D O）

対象 （誰を何を対象にしているのか）	妊娠期から乳幼児期（学童期）の親と子						
手段 （具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）	※平成21年度に実際に行ったこと： ①妊婦乳幼児健康診査事業：妊婦・乳児・幼児健康診査、妊婦幼児歯科健康診査②妊娠出産子育て相談事業：母子健康手帳交付、母子保健推進員の訪問（乳児家庭全戸訪問事業）4か月児・10か月児赤ちゃん広場、電話・個別相談、新生児訪問、妊婦・乳幼児家庭訪問。③妊娠出産子育て学習事業：マタニティ講座、パパとママの子育て教室、保育園・幼稚園歯みがき教育、就学時健診健康教育 ④幼児期の親学習支援事業⑤健康まちづくりプランの重点として「八千代市思春期保健ネットワーク会議」「八千代市歯科保健推進協議会」「やちよ食育ネット」の会議開催と活動の推進⑥妊婦健康診査の公費負担を14回。償還払いを開始する。 ※平成22年度に計画していること： ①仮称第2次健康まちづくりプラン策定に向けての準備会の開催及び「八千代市思春期保健ネットワーク会議」「八千代市歯科保健推進協議会」「やちよ食育ネット」の会議開催及び活動の推進②妊娠期から乳幼児期の切れ目のない支援の実施③妊婦健康診査の公費負担14回④幼児期の親学習支援事業・子育て応援ポケット・みんなで食育・おしゃべり広場など（地域子育て支援センターで実施、母子保健課と連携）⑤もうすぐ1歳半おやこ広場の実施（地域子育て支援センターで実施、母子保健課と連携）						
意図 （何を狙っているのか）	子育て中の親が、育児の不安を軽減したり、自分の時間を持ったり、子育てを通じて地域社会とのつながりを持つことで、いきいきとした子育てができるようになり、子どもたちが心身ともに健やかな生活をおくることができる。						
ねらい（上位施策の意図）	入力対象外						
区 分			単位	2 0 年度	2 1 年度		2 2 年度
				実績	計画	実績	計画
対象指標	指標 1	妊娠届出数	人	1, 876	1, 900	1, 874	1, 900
	指標 2	4歳未満の乳幼児の数	人	9, 562	9, 500	9, 415	9, 500
	指標 3						
活動指標	指標 1	妊婦・乳幼児健康診査を受診した者の数	延べ数	20, 013	20, 000	40, 542	40, 600
	指標 2	妊娠出産子育ての相談を受けた者の数	延べ数	10, 507	11, 000	12, 176	12, 200
	指標 3	妊娠出産子育ての学習（教育）を受けた者の数	延べ数	4, 925	5, 000	4, 573	5, 000
成果指標	指標 1	1 歳 6 か月健康診査を受けて満足している保護者の割合	%	77. 7			
	指標 2	生後 4 か月までに順調に子育てしている保護者の割合	%	84. 3	85	84. 2	85
	指標 3	4 か月児赤ちゃん広場で育児不安が解消した保護者の割合	%	68	80	68	80
上位成果指標	指標 1						
	指標 2						
	指標 3						

コード	3186	事務事業名称	母子保健事業				所属名	母子保健課
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。	☐ 改革・改善して継続			・子ども部の3課1センターの連携をはかり、妊娠期から乳幼児期の親と子に対して切れ目のない支援をしていく。具体的には妊娠期の母子保健手帳の交付やマタニティ講座の開催とマタニティ広場の連携を図る。乳児期は4か月児・10か月児赤ちゃん広場の実施や家庭訪問を連携して行う。 幼児期についてはもうすぐ1歳半おやこ広場を地域子育て支援センターと連携して実施する。母子保健課と地域子育て支援センターが連携して事業展開していく。 ・システム導入されたことで連携が図りやすくなる。			
		☐ 手法プロセスの改革・改善						
		☐ 事業規模の拡大・縮小						
		☐ 統合・役割見直し						
	☐ その他							
☐ 廃止・休止								
☐ 事業完了								
☒ 現状のまま継続								
	⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。			経 費			・母子保健事業の推進や子育て支援の必要な家庭を早期に把握し、個別支援をするために今までの相談事業・健康診査や予防接種の受診状況などのデータを蓄積する必要がある、健康管理システムを効率的に活用する。	
				削 減	不 変	増 加		
		成 果	向 上	☐	☐	☐		
			不 変	☐	☒	☐		
低 下	☐		☐	☐				

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など									
・幼児健康診査において、受診率の向上や継続支援の必要なケースへの支援・未受診者の対応が求められている。 ・健診の案内文書など、外国語版が求められている。 ・転入者の把握や外国人の対応が課題となっている。									

所属長コメント	母子保健事業の推進については、子ども部内の地域子育て支援センター、子ども相談センターなどと連携を深め、引き続き市民ニーズを把握しながら妊娠期から乳幼児期まで、切れ目のない支援を展開していくことが重要である。また、健康まちづくりプランの重点取り組みの「食育」「思春期保健」「歯科保健」について市民との協働のもとさらに推進を図るとともに、第2次八千代市健康まちづくりプラン策定に向けて準備を進めることが必要となっています。								
評価調整委員会評価	☐ 改革改善して継続			担当課の評価のとおり、現状のまま継続とする。					
	☐ 手法プロセスの改革・改善								
	☐ 事業規模の拡大・縮小								
	☐ 統合・役割見直し								
☐ その他									
☐ 廃止・休止									
☐ 事業完了									
☒ 現状のまま継続									